

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。



筒井幼稚園の避難訓練を見学しました！

筒井幼稚園には、たんぽぽ組、そら組、うさぎ組があり、3 才児から 5 才児まで約 30 名の園児が在籍しています。普段から災害に備え、事務所の棚には転倒防止対策がされていました。さらに園では、月に一度、避難訓練を行っており、今年の 1 月 14 日(水)には大規模地震(大和郡山市内において震度 5 以上)が起こったことを想定して避難訓練及び保護者への引き渡し訓練を行いました。11 時 15 分に地震が発生したことを想定し、園内に放送が流れ、先生は急いで出入口と窓を開けて逃げ道の確保をしていました。その間に園児たちは防災頭巾を頭にかぶり、お部屋の真ん中に集まり「ダンゴ虫のポーズ」と呼ばれる体を小さく丸め、頭を守る体勢をとっていました。揺れがおさまった後は、全クラス園庭に集まり、事前に用意している「園児引き取り確認カード」を使用して保護者へ引き渡し、訓練を終えました。



先生の号令のもと、園児たちが自然と防災頭巾をかぶり、頭をかばう姿を見て、日頃から防災意識を高く持って指導されていることがよく伝わり、園児たちの練習の成果を感じました。また繰り返し訓練することで自然と体が動くことを改めて実感しました。今後もぜひ続けていってほしいと思います。急遽の見学にも関わらず、引き

受けていただきました園長先生ありがとうございました。



いざという時に命を守るために！



～日常でできる防災対策～ 再度確認しよう！！

- ☐ 自分の住んでいる地域の特性を知る
(浸水想定区域、土砂災害警戒区域、液状化の可能性等)
- ☐ 近隣の避難所の確認(複数箇所)
- ☐ 家具の転倒防止対策や避難経路の確認
- ☐ 食料・水・トイレ処理剤の備蓄：ローリングストック法の活用
- ☐ 非常持出品(食料・水・薬など)をリュックに入れ、準備しておく
- ☐ 家族や身近な人と避難場所・連絡方法について決めておく



自分自身の備えがある程度できたら、地域のことを考えよう！
まずは日常生活で顔の見える関係づくりから始めよう。
→災害発生直後は、行政の支援がすぐに届かない場合もあります。
そのような時こそ、近所同士の助け合いが命を守る力になります。
日頃から挨拶や交流を大切にし、いざという時に頼れる関係を築いていきましょう！

防災は特別なことではなく、日常の延長線にあります。

自らの命を守る行動が、地域全体の安全に繋がります。

一人ひとりが防災意識を持ち、
地域で協力して災害に備えましょう！



自治会などの防災出前講座依頼も受付中！

少人数でも訪問します。災害対策課までご相談ください。

このニュースは、災害対策課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館、社会福祉会館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます。

大和郡山防災ニュース	↗	検索
------------	---	----

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください。

大和郡山市消防団へようこそ	↗	検索
---------------	---	----